

むらと原発／リニアと大鹿

こんにちは。私たちは「リニアもういや」と思っている大鹿村の住民とその仲間たちです。
むらでリニア反対と言うと角が立つようなので、

「リニア新幹線失敗の早期実現」を掲げたら、幼稚だと怒られます。

私たちの村の村長は、「リニアは迷惑施設」と言っていました。

だけど今は「何年かすればとん挫するのだから、道路ができればいい」と言っています。

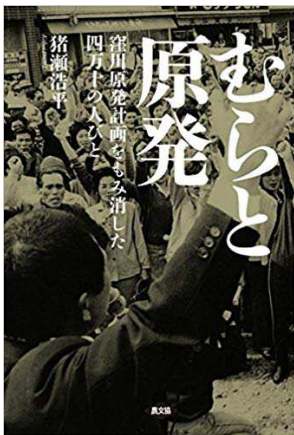
私たちと同じくらい不真面目だと思うのですが、

住民の言うことは聞かなくても、JRの言うことだけはなんでもよく聞きます。

「さわらぬリニアに祟りなし」で、本当にずっとここで暮らしていけるのか心配です。

そこで、私たちが暮らすむらの未来を思い、この村の大切な一部である南アルプスから学びながら、
リニア工事とどう向き合うべきか、シリーズでゲストを招いていっしょに考えます。

「発言しながら暮らしたい」、そう思ってます。



第一回目は

四国電力による窪川原発計画を止めた運動について
研究してきた猪瀬浩平さんです。

リニアも原発も国策民営。私たちは「国のやることだから」
と自分たちの未来を委ねがちです。

でも、住民たちがむらの未来を真剣に考えれば、
国策を「もみけす」ことができました。

いったい四万十の人々は何を考え、どう行動したのか
……まずは聞いてみたいと思います。

お話 猪瀬浩平さん

<プロフィール> 1978年埼玉県浦和市生まれ。明治学院大学准教授。専門は文化人類学、ボランティア学。NPOのらんど代表。見沼たんぼ福祉農園の活動に関わり、営農集団「見沼・風の学校」を2002年に結成。NPO法人こえとことばとこころの部屋理事。明治学院大学国際平和研究所所員。高知県窪川原発の反対運動を研究し、著書に『むらと原発 窪川原発計画をもみ消した四万十の人びと』（2015年、農文協）、『生きる一窪川原発阻止闘争と農の未来』（島岡幹夫著、2015年、高知新聞社）編。

●日時 2019年1月14日(月)11:00~13:00

●場所 大鹿村、上蔵地区の集会所(大河原中心部から車で10分、駐車場は福德寺前)

●参加費 500円、軽食あり。 *14時~上蔵の「どんと焼き」です。いっしょに行きましょう。

■主催 大鹿の十年先を変える会 TEL 0265-39-2067 (宗像)